

平成 29 年度「難治性疾患実用化研究事業(1 次公募)」の採択課題について

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) は、平成 29 年度「難治性疾患実用化研究事業(1 次公募)」における採択課題を決定しました。

本研究事業は、「希少性」、「原因不明」、「効果的な治療方法未確立」、「生活面への長期にわたる支障」の 4 要件を満たす希少難治性疾患を対象として、病因・病態の解明、画期的な診断・治療・予防法の開発を推進することで、希少難治性疾患の克服を目指すものです。

採択課題は、課題評価委員会において厳正な審査を行い、下記の通り決定いたしました

*****以下、ALS 関連の抜粋です*****

【AA】希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究 薬事承認を目指すシーズ探索研究(ステップ 0)

- (1) 筋萎縮性側索硬化症の病原タンパク質に対する自己分解型細胞内抗体の
実用化に向けた前臨床究

滋賀医科大学 漆谷真 教授

- (2) 疾患特異的 iPS 細胞を用いた球脊髄性筋萎縮症の新規治療薬シーズの探索

愛知医科大学 岡田洋平 准教授

- (3) 球脊髄性筋萎縮症の神経筋システム変性を標的とした革新的治療法開発

名古屋大学 勝野雅央 教授

【BB】希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究 医師主導治験(ステップ 2)

- (1) 大量メチルコバラミン筋注による ALS の治療薬開発研究

徳島大学 梶龍兒 教授

【CC】オミックス解析を通じて希少難治性疾患の医療に貢献する基盤研究 (オミックス解析拠点)

- (1) 大規模臨床、ゲノム、不死化細胞リソースを基盤としたオミックス解析による孤発性
ALS 治療法開発研究 名古屋大学 祖父江元 特任教授